

精神看護学授業全体計画

専門分野Ⅱ	開講年次		単位	時間	担当者
精神看護学	1・2・3年次		6	195	専任教員
科目構成	精神看護学概論Ⅰ、精神看護学概論Ⅱ、精神看護学援助論Ⅰ、精神看護学援助論Ⅱ、精神看護学実習				
授業目的 授業目標	<p>ライフサイクルにおける心の発達と健康及びそれに影響を与える要因を理解し、現代社会における人々の精神的健康の保持・増進または回復を支援する看護に必要な基礎的知識・技術を学び、合わせて患者―看護師関係において必要な自己洞察しうる能力を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の特徴が理解できる。 2. 心の発達と健康及びそれに影響を与える要因を理解できる。 3. 精神の健康の保持・増進を支援するための基礎的知識が理解できる。 4. 治療的対人関係の過程としての看護の援助技術が理解できる。 5. 援助者として自己理解を深めていくことの必要性が理解できる。 6. 精神医療の変遷と現状を学び、今後の課題を考えることができる。 7. 精神障害の症状・治療についての理解ができる。 8. 精神障害者の看護の基本と援助方法が理解できる。 				
授業科目	精神看護学概論Ⅰ	精神看護学概論Ⅱ	精神看護学援助論Ⅰ	精神看護学援助論Ⅱ	精神看護学実習
単位・時間	1単位 30時間	1単位 15時間	1単位 30時間	1単位 30時間	2単位 90時間
開講時期	1年次後期	2年次後期	2年次前期	2年次後期	3年次
学習の内容	精神の健康の概念 心の構造と機能 心の発達 環境と心の健康	精神医療の変遷 精神保健福祉に関する法制度 精神障害者の保健福祉施策 地域における精神保健活動	精神看護で活用する援助技術 患者家族への援助方法 コミュニケーション技術演習	主な精神症状への看護 精神障害を持つ対象への看護 看護過程展開演習	精神科閉鎖病棟看護 自立訓練及び就労支援通所施設
テキスト	新体系看護学全書 精神看護学①「精神看護学概論・精神保健」 新体系看護学全書 精神看護学②「精神障害を持つ人の看護」 メヂカルフレンド社				
先修条件	精神看護学実習は、専門基礎分野、基礎看護学、精神看護学概論Ⅰ・Ⅱ、精神看護学援助論Ⅰ・Ⅱを履修、基礎看護学実習Ⅲの単位を修得していること				
評価方法	筆記試験	筆記試験	筆記試験	筆記試験 5割 演習 5割	実習目標達成度 実習態度